

日野市立幼稚園についての保護者の声

公立幼稚園や私立幼稚園に通う、または、通っていたお子さんをもつ保護者の方々から、声を届けていただきました。日野市の幼稚園事情も伝わると幸いです。是非、ご一読ください。

1. ■さん(お子さん■歳)

妊娠時から3年保育でいれたいと考えていたので情報を集め、ある市内私立幼稚園の教育理念と説明会での話をきいて、入園させたくプレ幼稚園に全て参加しました。

しかし、入園面接時に、「普通の子じゃない。」「お母さんは、座ってられないこの姿をみてなんとも思わないのか」「園舎が変わるし、安全面からも受け入れられない」「診断名つけて申請して補助金もらわないとみられない」「この子は普通の子と違うと他の保護者に理解を得ないといけない」などと、30分近く否定されました。

当時うちの子は、嫌なことがあるとブーッと唇を鳴らす癖があったのですが、それが他児に唾を飛ばしていると思われ、それも注意を受けました。

ショックで万願寺支援センターへ相談すると、同じ相談の家庭が他にもあると言われました。

その後、他私立幼稚園へ通うことになりましたが、4月入園は安全面から難しいと6月入園になり、診断書をだして途中から加配は着きましたが、1人で数人を見ているため支援が届いているようには感じず、第四幼稚園へ転園しました。

2. ■さん(お子さん■歳)

私は少し発達の遅い子供を育てている母親です。

私立幼稚園は、プレの時点で、「うちには相応しくない。」とやんわり断られました。

受け入れてくれる私立幼稚園もあり見学に行きましたが、何かみんなで遊ぶ時に拒否した子どもを、先生は放置して、その後話しかける様子はありませんでした。

これでは幼稚園に通わせる意味はありません。

公立が無くなれば、私立は全ての子どもを受け入れてはくれるでしょう。でもそれだけです。加配は付くとは到底思えません。私が望むのは全ての子どもが平等に幼稚園で学び遊べる環境です。

3. ■さん(お子さん■歳)

公立幼稚園はきちんと加配をつけてくれて安心感がありました。また、同じクラスにも加配が必要な園児が数名いたことで、情報交換ができ、疎外感を感じることなく過ごせました。

4. ■さん(お子さん■歳)

娘が私立幼稚園に通っています。

幼稚園のお母さん方からも、近所の公立幼稚園の様子を見て、保育年数や登園手段の制限が無ければ公立に通わせたいと言っている人も多いです。

また、大人数の活動に馴染めず、公立への転園を視野に入れている人もいます。

今、幼稚園に通っている人の中で、加配の人員が足りなくてイベントへの参加を断られて悔しい思いをする人もいます。

先日、イベントへの参加を断られた子は、発達障害の子だったのですが、特に脱走とかも無いし、他害もないし、普段は友達とも遊んでいる普通の子です。別に断る必要ないのでは?!と、同じクラスの保護者間で話題になりました。子どもも赤ちゃんじゃないので、自分だけ参加出来ない事は雰囲気分かるので、余りに配慮がないなあ…と感じました。

同じクラスの発達障害のお子さんがいるお母さんの話だと、日野市の私立幼稚園は、保護者が何人加配申請しても、市からの補助金に制限があるようで、一定以上加配が必要な生徒を受け入れると、費用は幼稚園が持つことになるらしいと言っていました。公立がなくなって、私立への補助もこのままだと、行き場のない子が増えそうで、とても心配です。

5. ■さん(お子さん■歳)

昔のことですが、娘の同級生が私立幼稚園で、他の子と一緒に事が出来ないことで隔離されていて、それがわかった母親が、公立幼稚園に転園してきました。

多様な子どもがおり、共働きが当たり前の昨今、保育園は充実しているのに、ゆっくり子供と向き合うお母さんには、のんびり通える公立幼稚園が必要だと思っています。

選べる選択肢を少しでも多くしていただきたいと思っています。

6. ■さん(お子さん■歳)

私の子供は、心疾患児が全体の子供の1%の確率で生まれてくるとしたら、更にその心疾患児の中で1%の確率で生まれてくる、珍しい形の心臓(オリジナルハート)を持っています。それを神様からのギフト(贈り物)と言うママ達もいます。

見た目は普通の子と変わりません。心臓病ですが今のところ、運動制限などはありません。

4歳になる今まで、病院と家庭以外の集団生活を知りません。何回か行われた心臓手術や感染症による入退院の繰り返しでほとんどを病院で過ごしたからです。最後の、オペ中完全房室ブロックになりペースメーカーが彼の心臓を補助しています。彼はペースメーカーを僕のハートと呼びます。彼の心臓はペースメーカーがないと動かないからです。

今、フォンタン手術まで終え、幼稚園入園を考えるまで回復しました。

私立、公立、幸いな事に、日野市には二種類の幼稚園があります。

オペを行った九州では、ペースメーカーを理由に私立幼稚園のプレ入園を断られました。公立は残念ながらありません。あるのは、結一、大学の附属幼稚園です。大学の附属幼稚園では皆とおなじように遊べましたが、一時預かりの保育園では、残念な事に同じ学年のお友達とは遊べず、別に1人隔離されました。

活発な園児がいる中、安全性が担保出来ない、というのが理由です。うちの子も同じように活発です。

東京だと、人口が多いからちがうんじゃない？と九州では言われました。

心疾患児の兄達は日野市の私立幼稚園に通っていたので、ご縁を頼って入園をお願いしたのですが、集団生活を知らない、安全性を担保出来ない、この2つの理由でお断りされました。

断られる理由はどこも同じで、説明する親の私は毎回毎回うんざりします。

主治医からは集団生活は可能と言われていています。都立の先生からは私立公立こだわらずどちらも行けるのでは、と。私もそう思います。でも、私立は断られました。

公立にも入園をお願いしてみました。返ってきた答えは忘れないと思います。園長先生はこう言われました。

「お母さん今まで大変でしたね、これから、病院などで経験できなかった色々な事を、お母さんお子さんと私達と、一緒に楽しみませんか？」と。

公立の幼稚園は、私立と違って通園バスがありません。給食ではなく毎日お弁当です。

でも、自転車の後ろに乗っての通園、風が頬を伝わる感覚、春に咲く桜、そしてまた、花が散る様子、多摩川沿いの途中の土手の草の臭いとか、葉っぱの色付き、凍てつく寒さや、雪の降り積もる様子を肌で感じる。季節の移り変わりは常に空調管理された病棟の病室の中では感じる事のできなかったことです。

広い園庭、園児に飼われているうさぎとカメ、花壇に咲く花を摘んで作る制作や、自由保育で、のびのび過ごす個性豊かな園児達。

公立の幼稚園を訪問してみて、心疾患児がお友達とお弁当を見せあったり、交換して食べても大丈夫なように、毎日工夫しながら2年間お弁当を作るのもいいのかもしれない、

きっと、彼にとっては全てが初めての素晴らしい集団生活の経験になるだろうと思った出来事でした。

7. ■さん(お子さん■歳)

公立で良かったと思うのは、園の様子が見える安心感があることです。

毎日、お迎えのときに先生からの一日の様子を詳しく聞けたり、心配事はすぐ相談できる環境が有り難かったです。

親の出番が多くて大変な時もありましたが、その分親同士が仲良くなれて子育て世代の友達ができて心強かったです。

8. ■さん(お子さん■歳)

自閉症をもつ子と接した事があります。こちらが振り回される事が多かったです。イヤイヤ期の子どもとは近いけれど、ちょっと違って、こだわりの強さや多動など、泣いてしまうとその子が受け入れ可としている大人でないと対応できませんでした。

これまで加配の必要な子の受け入れ経験のない私立幼稚園で、専門の職員を配置するにしても、それまでの保育とは違ってくると思います。保育の現場も人手不足で仕事は多いと聞きます。さらに負担を増やす措置はしない方がよいと思います。

9. ■さん(お子さん■歳)

(※ 紙媒体への掲載のみをご希望されているため、こちらには掲載しません。)

10. ■さん(お子さん■歳)

2歳のときの私立のプレ幼稚園で、発達がゆっくりなことを伝えたところ、ゆっくりだと入園後の幼稚園生活に対応が難しいという趣旨のことを言われたことがあります。

11. ■さん(お子さん■歳)

今小3の息子が第五幼稚園でお世話になりました。

私立幼稚園で受け入れてもらえず、2年保育の公立幼稚園に通うことになりましたが、息子の成長にとってこの2年がとても貴重で素晴らしいものになりました。

私立に入れなかったときには、うちの子は他の子と何が違うんだろうと、とても悩み、悲しい思いをしました。

市の発達相談では問題ないと言われても、私立の幼稚園には入園を断られてしまう。理由は公立と違って加配などの対応ができないためということでした。

地域を広げて探せば入園できる幼稚園はあったかもしれませんが、下の子がまだ小さく遠くの幼稚園に通うことは考えられませんでした。

第五幼稚園では、先生方が一人一人しっかり見てくださり、子どもはのびのびと成長することができました。親としても安心して通わせることができ、地域の中で子育てができることがとても嬉しかったです。

次男も第五幼稚園にと思っていた矢先、五幼は閉園してしまいました。我が子が入園できないことも悲しかったのですが、うちの子みたいな子はどうするんだろう、という思いになりました。

今回、四幼閉園の話聞き、とても残念に思っています。

幼稚園を希望する多くの親御さんが私立幼稚園を選択し、公立を希望する人は少なく園児が減っている状況だと思います。

下の子が私立に通った経験から、園児の数が多ければたくさんの刺激を受け、様々な経験ができるかもしれませんが、その中で埋もれてしまう子もいます。

個々の成長を大切に見守り、質の高い幼児教育が行われる環境をなくしてほしくないと思っています。

12. ■さん(お子さん■歳)

現在第四幼稚園に通う長男は、一歳半健診の時に言語の発達に遅れを感じ、その頃からエールさんの療育グループに参加していました。

幼稚園は発達に不安があるため、本人が無理なく楽しく通える所を探そうと思い、日野市～府中市の私立幼稚園4か所のプレ保育を掛け持ちしました。

その内の1ヶ所の説明案内会で、「うちの幼稚園はどんな子でも受け入れ、平等に接し、のびのびと成長させることをモットーにしています。」という言葉と共に、これまでに発達に不安がある子や障害のある子を受け入れてきた経歴などのお話も聞けて、何より息子本人がその幼稚園のプレ活動を毎回すごく楽しんでいて、先生方ともとてもいい関係を築けていたため、ここの幼稚園で間違いない！と心に決めていました。

最後のプレ保育の日も楽しく過ごし、先生方とも幼稚園楽しみだね！待ってるからね！と楽しくお話しして帰りました。

そして迎えた面接当日。

名前が呼ばれて部屋の中に入った瞬間、違和感がありました。

目の前の面接官の先生2人が気まずそうにこちらを見ていて、1人の先生が立ち上がったかと思うと、入り口から副園長の女性が入ってきてすぐに入れ替わりました。

そして開口一番、

「大変申し上げにくいのですが、息子さんはうちに通っていただくことは出来ません。」でした。

突然の事で混乱しながら理由を聞くと、言語の発達が遅く、意思疎通が難しい。エールとすでに繋がりがあのようなので、そちらと相談してもっと息子に合う施設を検討するべきだと。

プレ保育の時点ではそんな話一言も出てないんです。むしろお話できない分、身振りで教えてくれて偉いね！なんて言っていただけなのに。色んな感情がぐちゃぐちゃで、涙が溢れないようにすることに必死で何も言い返すことが出来ませんでした。

他の子達と同じような面接は一切してもらえないままで退出となりました。

プレ保育の度にニコニコで帰っていた帰り道を、何も状況がわからずボーっとしている息子の手を引いて泣きながら帰りました。

その後はエールさんにお世話になり、今の第四幼稚園を紹介していただきご縁が出来ました。

こんな経験をしたのもあり、第四幼稚園に息子を歓迎してもらえたことが今でも感謝でいっぱいです。

13. ■さん(お子さん■歳)

うちも私立幼稚園に断られたのですが、
やんわりと「エールに行った方がいいと思いますよ」という感じでした。

私も当時無知だったもので、あ、こんなに私立幼稚園って入る子を選ぶんだ、とびっくりしました。

うちの子のような問題児なら無理もないんですが…。

もし日野市が公立を全部なくす気であるなら、エールも受け入れ人数に限界がありますし、私立でも支援員を増やすのはお金がかかるので嫌でしょうが、入る子を受け入れるようにする、といったことが必要になってきますね。

14. ■さん(お子さん■歳)

〇〇幼稚園に断られ、□□幼稚園は受け入れると言われていたのに、年明け早々に年中からの入園を勧められたので、公立に行くことにしました。もし、私立に行ったとしても、じっとしてられない、ママから離れられない子だから、とてもバス通園なんて出来ません。だからこそ、自転車や徒歩で通える幼稚園が必要です。

15. ■さん(お子さん■歳)

一番上の娘が、ママから離れられない子で、登園時に泣きついて抱きついて離れず、毎朝先生に引きはがしてもらっていました。バスでは通えなかったと思います。徒歩か自転車で毎日通える場所に幼稚園があることで、とても助かっていたのだと、改めて感じました。

16. ■さん(お子さん■歳)

幼稚園を選ぶときに、早生まれで言葉も遅い特に男の子は日野の私立は厳しいと聞いていたので、最初から公立幼稚園に決めていました。

幼稚園が入園やイベント参加を断ると、「普通で良かった。」という家庭も出てきて、余計な格付け感で差別意識が高まってしまうと思います。

そういう家庭が増えると、今度は、「障害のある子がいると効率が悪くてうちの子が成長できない」とか、「区別してあげた方が障害のある子にも良い」となり、いつまで経っても、世界基準のインクルーシブにならないと思います。

先日、発達障害の子を持つ友人から聞いた話ですが、ステップ教室で子どもが「相手が傷つくかもしれない言葉の可能性があるから、思ったことをパッと言わない」、「表情を見て言葉を選ぶ」という練習をしているのに、ステップから戻ったら、教室で普通の子に「お前バカだからステップ行ってるんだろ？」と、傷つく言葉を平気で言われたそうです。

他人を傷つけるのは、発達障害のある子、と決めつけて、ステップ教室だけでやるのではなく、一般教室でもやってほしいと思います。

17. ■さん(お子さん■歳)

○ベテラン先生の多さと若手の先生のバランス

ベテランが多いのは魅力です。経験も大切。他の幼稚園は7年目で最年長とか聞いたことがあります。長く幼稚園教諭を続けられるのは市立ならではだと思います。

○私があえて2年保育である市立幼稚園を選んだ理由

自由時間の多さです。例えば、他の幼稚園の特色の英語やプールを幼稚園で学べるサービスとかありますが、やりたいと思えば外でも習わせられます。また読み書きなども親の私が教えれば出来ることです。

しかし、同年代の子と遊ぶ経験だけは親ではできないので、自由時間に目一杯遊ぶことができ、園庭が広い市立を選びました。

○親の関わり

親の出番は多かったです。でも子どもとたくさん関わって、成長する姿や楽しんでいる姿をいっぱい見られて楽しかったです。また他の親と仲良くなれて相談できる関係を築けました。

18. ■さん(お子さん■歳)

息子は自己主張が苦手で、かなりマイペースです。大規模な幼稚園だったら、埋もれてしまっていたと思います。でも公立幼稚園で手厚くみてもらったおかげで、少しずつですが言いたいことが言えるようになりました。

私は子どもが小さいうちはなるべく一緒にいて、日々の成長を見守りたいと思っています。公立幼稚園は毎日の送り迎え、お弁当の用意、行事の手伝いなど保護者の出番が多く大変と言いますが、私にとってはとてもありがたい環境でした。毎日幼稚園に行くことになるので、他の保護者とも仲良くなって、子育ての悩みの相談も出来ました。子どもが小学生になっても仲良くしてもらっています。

公立幼稚園は子どもだけでなく、保護者にとっても大切な場所です。公立幼稚園をなくさないください。

19. ■さん(お子さん■歳)

私の娘はいわゆるグレーゾーンです。

いくつかの私立幼稚園に入園を断られ、エールの通園事業 きぼう に通園しました。

先生方も優しく、手厚くしてもらえて本当に感謝に絶えませんでした。2年目にはダウン症、耳の聞こえない子など、重度のお子さんの多いクラスになりました。

そんな中、もっとお友達から学び、伸ばせる可能性があるのではないかと思います、エールの先生からとても良い方だからと紹介されたのが第四幼稚園の小宮先生でした。

私立で断られたとき、泣きながら帰った苦い経験を思い起こし、不安を抱きながら叩いた第四幼稚園の扉でしたが、「お母さん、大丈夫ですよ」と、とても優しく励まし、驚くほどすんなり受け入れてくださって、泣きたくなるほど嬉しかったです。

他の先生方も優しく、そして甘やかしすぎないようにお願いすれば、ときに少しだけ厳しくしてくださり、本当に感謝しています。

先日、登園時間に少し遅れたときには、お友達が6、7人くらい、門の近くまで迎えに来てくれました。そして、それは初めてのことでありません。

ときにケンカしたりもあるでしょうが、先生が上手にお友達の気持ちや特性を伝え、本人の気持ちを聞き出し、少しずつでもお互いを理解し合えるようにし続けていてくれたから、子ども達はそれぞれの個性を認め合い、毎日楽しみに幼稚園に通っているのだなあと思います。

この環境は一朝一夕で作れるものではありません。

私達の子どもの受け皿を無くすというのであれば、それ相応の環境をすぐに作り直していただきたいです。

そしてそれこそ、大変な話なのだということに気づいていただきたいです。

ここにある、インクルーシブが叶う場所を大切にしてください。

20. ■さん(お子さん■歳)

3年保育がとても魅力的だったため、私立幼稚園にしようか迷ったのですが、子どもの通園時の安全性や、何かあったときに迅速に対応できることを優先し、近くの公立幼稚園に決めました。近くに私立幼稚園が一つもなかったからです。

公立幼稚園に決めたものの、実際に年少の子どもと1年間、二人きりで家にいる生活は、正直つらかったです。近くに3年保育の幼稚園があつたら良かったのに、と何度も思いました。

当時、新型コロナの影響で、ぷちっこの日も停止しており、やっと幼稚園に通い始めたのは、入園前年の10月でした。通い始めてすぐに、当時の園長先生から、落ち着きがなく加配が必要かもしれないので、エールで就園相談をするよう言われました。

その時は、確かに落ち着きはないけど、ずっと見てもらうほどかな？まだ少ししか通っていないのに、そんな特性までわかるのかな？と半信半疑でしたが、いざ幼稚園に入ってみると、自分の意思が成長するほどに、落ち着きのなさがはっきりと出るようになり、自分だけ園庭に出たり、嫌なことがあると幼稚園の門から出ようとするようになりました。

コロナ過の短い時間でも、先生が素早く特性に気づき、最初から加配の先生をつけていただけたことで、安全に過ごすことができただけでなく、先生方一人一人が、息子の嫌がることや得意なことをしっかりと受け止めてくれるので、自己肯定感もさがらず、幼稚園も嫌いにならず、とても楽しく通っていて、先生方のこれまでに蓄積されたスキルが素晴らしいのだな、と感じています。

息子はステップ教室を利用して通常学級で小学校に通う予定なのですが、小学校生活へスムーズに移行できるように、という部分についても、日々いろいろ考えていただき、本当に感謝しています。

一番凄と思うのは、息子のような落ち着きがなく集団活動が苦手な子だけでなく、他にも様々な子どもたちがいるのに、仲間外れにされたりする子がいないことです。もちろん、性格が合わない子はそれぞれいると思いますが、園庭で遊ぶ様子や、登園時の関わりなどをみていると、みんながお友達の良いところを認めあい、大切にしているのが伝わってきて、とても温かい気持ちになります。

どんな子ども、本当に自然に、当たり前のように一緒に過ごしています。特性があるといわれている子ども、いわれていない子ども、それぞれに影響しあい、そのおかげで優しい心が育っていると感じます。これこそが、本当の意味でのインクルーシブなのでは、と思います。

近いから、というだけで選んだ公立幼稚園でしたが、他の保護者の方から、落ち着きがない子は私立で断られることもあるという話を聞き、私が子どものことで深く悩んだり落ち込まずにすんだのは、公立幼稚園に入ったおかげなのかも知れないと感じています。

四幼の近隣地域は、ここ数年、新規の住宅が増え続けています。まだまだ子どもが生まれると思います。そして、その中にはいろいろな特性を持つ子どももいると思います。これからそのような子どもをもつお母さんにも、近くの公立幼稚園という選択肢を残してほしいです。また、みんな違うところがあるけどそれぞれ素敵などころがあることを学ばせたい、自由な遊びの中でのびのびと成長させたいと願うお母さんに、公立幼稚園という選択肢も残してほしいです。

21. ■さん(お子さん■歳)

うちの子は生後半年で病気が発覚し、それ以降は定期通院をしながら、なるべく病気、ケガをしないよう静かに過ごしてきました。

三歳半を過ぎた頃、主治医から保育園幼稚園の許可がおりたので、市内で通える園を探したのですが、許可がおりた時期と病気の関係で、保育園と私立幼稚園は諦め、市役所学校課に公立の第四幼稚園を教えてくださいました。

プレ保育や入園申し込みの事などで、園に初めて電話した際、子供の病気の事を相談したのですが、電話口の先生もその後代わった園長先生も、病気がある、というワードに少しも気後れすることなく、

「お母さん大丈夫ですよ。まずは幼稚園に来て下さい。色々お話ししましょう。ぜひお待ちしておりますね。」と言って下さいました。

その言葉がどれだけ嬉しかったことか。この時の事を思い出すと、今でも涙が溢れます。

赤ちゃんの頃から色々な事を諦めてきた私達親子は、その温かい対応に心底救われました。

入園した後も何かケガ等あった際に、すぐに対処できるように、幼稚園の先生方全員が病気の事を理解して下さい、園長先生は面談時以外のところでも病気の事を考え調べて、勉強して下さいました。

私と幼稚園間の報連相もとても密で、担任の先生が子供の様子を毎日教えてくれたので、本当に安心して通わせる事ができました。

先生方の細やかな配慮のおかげで、子供は行動の制限もなく、病気に怯える事もなく、毎日楽しくすくすくと成長しています。本当に第四幼稚園の先生方には感謝してもしきれません。

一部の他の園では、病気があったり支援の必要なお子さんが、プレ保育はできても面接してもらえないなんてことを聞きます。私もそうですが悲しい対応をされたママたちの声もたくさん聞きます。ですが、第四幼稚園はうちの子のようなリスクある場合でも、柔軟に対応して下さい、本当に貴重な公立幼稚園です。

今後も質の高い幼児教育が行われる場所として、なくさずに残していって欲しいです。

22. ■さん(お子さん■歳)

転勤族です。いきなり転勤になり、幼稚園を探すのがいつもバタバタになります。

私立はプレに行っていないと入るのは厳しかったりします。

願書をギリギリで出しに行ったら、今頃来られたんですか？本当にうちを希望されてるのかしら？という感じで、受付さんの対応に嫌な思いもしました。

慣れない土地で友達が出来やすいのは、やはり公立だと感じます。

家の近くにある公立幼稚園のママさんだと、何かあった時にも近所なので頼れます。

また、先生方と毎日直接お会い出来るので、我が子の様子もよく分かります。

我が子以外の子供達も我が子同様に見てくださる親御さんが多く、あたたかい雰囲気があります。

23. ■さん(お子さん■歳)

2018年まで第5幼稚園に子どもを通わせていた保護者です。
その経験から公立園の必要性和価値について書きます。

● 第5幼稚園の魅力と価値

第5幼稚園は設備は古いものの、アットホームでとてもいい園でした。

日々の保育の中で、子どもたちは主体的に考え、意見を持ち、お友達と尊重しあうことを教えてもらっていました。

比較ではなく自分自身の目標を立てて努力することを励まされ、先生方の温かい声かけを通じて自己肯定感を育まれていました。

発達障害のある園児へのサポートも充実し、孤立することなくインクルーシブに保育されていることが感じられました。

いま思えば、こうした手厚さは公立園だからこそであり、先生方の間でも深い子ども理解と実践のノウハウが継承されていたからだと思います。

● 地域の「記憶の拠点」としての幼稚園

第5幼稚園は地域の記憶が集積する場として機能していました。

毎年恒例の夕涼み会や運動会には、卒園児も含めて地域の子どもたち・親たちが集まり、世代を超えた交流がありました。

私たち保護者も、子育てを通じて初めて地域の知り合いが増え、地域に生きているという実感を持つことができました。

子どもたちは2年で卒園していきませんが、きょうだいや友達を通じて園とのつながりは続きます。隣接する八小や三沢保育園と常時交流することで、友達関係を維持しながら進学でき、ときには懐かしい幼稚園を訪れ、先生から声をかけてもらう。それは「小1クライシス」といわれるような困難に向かう子どもにとっては大きな支えだったと思います。

● 閉園が残した傷

その第5幼稚園が、あっさりと閉園されてしまいました。多くの保護者は市の方針だからと諦めムードでしたが、私のように、この園をなくすのは惜しいと思っていた人は多いはずです。なぜ5幼がなくなるのか、子どもたちに説明できない苦しさだけが残りました。

第5幼稚園の園庭には、立派な桜や果樹のほか、毎年卒園児が作った卒園制作のモニュメントがありました。園児たちは、自分が卒園したあとも下の子たちに楽しい園を残そうと先生方から励まされてそれらを作ったと思います。それらの作品も、保存の努力もなされず、園舎とともに重機で破壊され撤去されました。

卒園児の多くは隣接する第八小学校に通っています。自分たちの目の前で、思いをこめた卒園制作や思い出の詰まった園舎が瓦礫にされ、更地になっていくのを毎日目にしていたのです。そのことが子どもたちの心に与えた傷を軽視してほしくありません。

● 卒園児や保護者への説明の不足

コロナ禍のためもあったとは思いますが、第5幼稚園の閉園にあたり、卒園児やその保護者にはなんの案内もなく、思い出を偲ぶセレモニー等もないまま終わってしまいました。

私は、園庭の保存と子育て施設としての再利用を検討できないか、そのために保護者へのアンケートや説明会を持ってほしいと市の学校課に要望書を出しましたが、その後の応答はありませんでした。

せめて、跡地がこれからどうなるのか、どのような用途を考えているのかを地域住民や卒園児・保護者に十分説明してほしいとお願いしたのですが、結果は数カ月後に、園庭を囲む柵に「跡地利用を検討中です」との一枚紙が素っ気なく掲示されたのみでした。

閉園の方針がその時点で変えられなかったとしても、園に愛着を持つ子どもや親たちに、「みなさんの思いを尊重して、この場所を有効に利用します」と説明を尽くす姿勢を見せてくれたら、子どもや保護者の納得感も違っただろうと思います。

私は、このことは、子どもの権利条約の基本理念である「意見表明権」にかかわることだと思っています。統廃合は大人が判断することで、子どもの声を聞く必要はないと市が考えているとしたら、それは権利条約の理念に反しています。

第5幼稚園が日々の保育の中で実践していたのは、子どもを一人の人格として尊重し、その声を聞き取ろうと努力することだったと思います。残念ながら閉園の進め方において、市の姿勢はその対極にありました。

● 第4幼稚園の閉園方針について

今回、第5幼稚園の統合先と当時説明を受けた第4幼稚園もまた閉園の方針と聞いて、私は「ああ、やっぱり」と思いました。市は、日野の子どもたちに豊かな幼児期を保障するという役割から手をひこうとしているのだと。閉園の理由として、適正規模のことが繰り返し言及されていますが、適正規模はあくまで目安であって、それを下回ると適切な保育ができないという意味ではないはずです(もしそうなら、地方の過疎地では幼稚園は設置できないはずです)。

少人数のほうが保育の目が行き届きやすいのは自明ですし、大きな集団での遊びや行事は他の園との合同行事や小学校に上がってからでも保障できます。わざわざ園を閉じ、遠方の園まで通わせることが子どもの育ちにとってよりメリットのあることだとは思えません。

結局のところ、市が閉園したい本当の理由は金銭的なコストであるのに、そのことを正面から説明せず、あたかも子どもの利益を考えて閉園するかのような言い方は、とても欺瞞的だと思います。

「別の園に通えるから大丈夫」といった言い方には、子どもが地域や友達関係の中で育つ存在であることを無視し、数合わせの駒のようにしか見ていないと感じられ、悲しくなります。就学前の子どもは、ご近所の友達と地域内で遊びながら成長するのがもっとも自然です。車でしか行けないような遠方の園に入れたとして、それで同等の育ちの機会を保障したといえるでしょうか。

● おわりに

2年間というごく短い期間でしたが、第5幼稚園の保育に、子どもを育てる上での大切な姿勢を学ばせてもらいました。地域の中で次世代を育み、その記憶を共有・継承していく場として、公立幼稚園の存在はとても大きかったと痛感しています。だからこそ、同じ喪失感を第4幼稚園の園児や保護者、近隣住民の皆さんには味わってほしくないのです。

自治体が地域で育つ子どもを最大限に尊重し、公的な責任で幼児教育の質・量を保障していくことは、「日野で子育てしてよかった」「日野で育つことができよかった」と思える住民を増やすことにつながります。それは地域への愛着となり、将来の世代においても日野で子育てをしようとする家族を増やし、人口減少への歯止めとなるはずです。

ぜひ、貴重な公立幼稚園の火を消すのではなく、時代に即した形で新たに発展させていく道を考えていただきたいと思います。

24. ■さん(お子さん■歳)

息子は私立幼稚園に一年間通っていましたが、発達の遅れを指摘され、公立への転園をすすめられました。退園しない場合は保護者が毎日付き添うように求められ、それはとても無理だと思い、退園を選びました。

すぐに公立園に電話をしましたが、加配の先生をすぐに見つけられず待機となりました。なかなか入園が決まらず、このままどこへも行けないのではと不安に駆られ、いろいろな施設に電話をし、公立園にも何度も電話をしてしまいました。そのとき園長先生が「必ず入園できるようにしますから、安心して待ってください」と言って下さり、ほっとして涙が出たのをよく覚えています。

公立園では、集団が苦手な息子のために言葉かけや環境づくりを先生方が一生懸命考え、たとえば不安になったときの居場所として、息子専用の段ボールの可愛いおうちを作って教室に置いて下さるなど、本当に寄り添った保育をしてもらえました。

今、小学校の特別支援学級に楽しく通っていますが、もしあのとき公立に入園出来ていなかったら、息子はどうなっていたのでしょうか。

多様な子どもたちを手厚い環境で受け入れてくれる公立幼稚園は、日野市の誇れる宝です。

25. ■さん(お子さん■歳)

我が家は、上の子は私立幼稚園でしたが、下の子を四幼に入れようと思ったのは、海外からの帰国のタイミングが年中の後半だったので、3年保育の私立に途中入園するのは、あまりにも今までと違い過ぎると思ったからです。

私立の3年保育の内容がわかっていたので…。

海外でも、たまたま四幼のように1クラス規模の日系幼稚園に通っていたので、環境をあまり変えたくなかったからというのが入園の理由です。

四小に入れるつもりだったから、結果、園児のうちから四小に行くという本人の気持ちが自然な流れでうまれたこと、四小との交流もあり、安心して入学できたことは何よりも良かった事です。

26. ■さん(お子さん■歳)

私が第四幼稚園を選んだ理由は、まず自宅から近かった事。降園後もお友達と遊べて、近所のお友達ができる事です。

自国の宗教上の理由で食べてはいけない物があるので、お弁当なもの子どもが他の子と違いを感じなくて済むと思いました。

バス通園だと降園後遊ぶ事はできないので、毎日元気に遊ぶ子供の姿、成長が見られてとても良かったです。

27. ■さん(お子さん■歳)

市外から引っ越して来て、年中の途中から入れる幼稚園を探していました。

引っ越す前の幼稚園では、親しくしていたママ友達とうまくいけなくなり、人間不信になってしまい落ち込む日々でした。

自分だけなら耐えたのですが、仲の良かった子ども同士も遊ばなくなるなど、子どもにも影響してしまった事が、とてもかわいそうで辛い事でした。

何園か問い合わせて見学に行きましたが、自分の選択により子どもが園生活を楽しめなくなるのではないかという不安から、見学後、なかなか幼稚園を決められずにいました…。

そんな時、第四幼稚園の先生から電話がありました。

『よかったら幼稚園に遊びに来てください。』

私はまだ入園を決めてないのと言いましたが、『(入らなくても)大丈夫なので是非どうぞ』と仰ってくださいました。

何でもない事なのかもしれませんが、当時の私には救いの言葉でした。

そして不安ながらも遊びに行くと、お母さん達も含めとても雰囲気良く、子どもの楽しそうな姿を見て、決めることが出来ました。

何かあった時に歩いて行ける距離なのも大きかったです。

入園後は他の保護者の方には関わらず静かに過ごそうとしていましたが、ママ達がとても気さくな方ばかりで、保護者が参加する行事も多く、皆で協力しあい、助け合いながら絆が深まっていきました。園生活は保護者にとっても大切な時間であり、場所なんだと思いました。

子どもは誰と誰が遊んでいても大丈夫で、決まった子だけと遊んでいた私立の時とは色々な事が違いました。

3人の育児に追いつかなくなっていると、1人でそんなに頑張らなくて良いんだよとママ達が手伝ってくれました。

私が体調不良の時も子どもの送り迎えをしてくれ、助けられ、救われ、生きる事に前向きになれました。

ある時何かお返ししたいと聞いた時、『もし、これから先自分に余裕ができた時に困ってる人がいたら、自分のできる範囲で良いので助けてあげて、それがお返し』と言われ、涙が止まりませんでした。

その後少し余裕ができたので下の子の時からそのお返しをしています。

『何でここまでしてくれるの?』と聞かれる事もあり、お返しをします。話をしなくても四幼の助け合いの形は続いています。

小学校に上がってからもその繋がりは続き、情報交換など安心した学校生活に繋がっています。

数字では表せませんが、多くの心が救われ、たくさんの命が救われています。

第四幼稚園が無くなれば、色々な事が崩れて行くと思います。

四幼の存在を知っていただければ、救われる親子が増えると思います。

28. ■さん(お子さん■歳)

私の知り合いのママさんで、子どもが私立幼稚園に通っていたんだけど、集団生活が上手く出来ない所があって、年中の時に、今年度中に出来てない所が改善されなければ、来年度進級することは出来ませんって言われた人がいます。もし、進級できなかつたら、公立に行くと言っていました。

結局、幼稚園のチェックシートみたいなもので、出来たらシール貼って、みたいにチェックして、お子さんがかなり頑張って進級出来たそうです。

よく話を聞くと、ママさんが結構追い詰められて、子どもに厳しく接していたみたいです。出来ないと幼稚園も小学校も行けないよって子どもに言って、頑張らせたと言っていました。

うちは公立幼稚園に通わせていましたが、うちの子も年中の時、園生活についていけなくて、「いなくなりたい」と泣き叫び、幼稚園に行くのを嫌がるようになりました。

不安を抱えたまま年長になりましたが、その時の園長先生は、「どんな〇〇ちゃんでも受け入れます」って言ってくださいました。子どもは不安定な状態で登園するも多かったですが、そのような言葉をかけていただいたことで、親としてはとても安心できました。

エールでわかった特性や検査結果も全部シェアして、配慮してもらって、担任の先生も、専門的な知識ないからわからない〜、と言いながらも色々良くしてくださり、うちの子もメンタルが不安定な中でも、登園すれば安心して楽しめたし、私も安心して預けられました。

ある時、加配を付けてくれたりサポートしてもらってありがとうございます、ってお礼を言いに行ったら、こう言われました。「ありがとうなんていわないでいいよ〜、当たり前的事してるだけだから〜」と。「私達教員は、全員一人ひとりを特別扱いしていて、〇〇ちゃんだけを特別扱いしている訳じゃないから、お母さんが頭下げることじゃないのよ」と。

私はその時の園長先生に救われたので、公立とか私立だけでなく、園の先生によっても違うと思っています。ただ、必要になったときに加配をつけてしっかりサポートしてもらえるのは公立だと思います。下の子ども四幼に入園させたいので、なくさないでほしいです。

29. ■さん(お子さん■歳)

上の子は第四幼稚園に行っていました。

6歳離れた下の子ども第四幼稚園に入れたかったのですが、家計の為に働きたかったので保育園を探しました。

本当は、下の子どもがまだ小さかったんで、一緒にいる時間をできる限り取りつつ働きたかったのですが、保育園に入れる為には月48時間以上の労働が必要だったので、子どもとの時間は諦めて、シフトを増やすしかありませんでした。

第四幼稚園でも3年保育や延長保育をやっていたら、子どもとの時間も取りつつ、仕事ができたいと思います。

30. ■さん(お子さん■歳)

結婚して9年目で初めて子どもを授かりました。

まだ生後4ヶ月ですが、日に日に成長して行き、その成長を見る事が出来て専業主婦で良かったと思っています。

同世代で未婚の友人やまだ子どもがいない友人も、子どもが出来たら退職し、子どものために時間を使いたいとよく話しています。

近い所に幼稚園があると思って安心していたのに無くなってしまうのはとても不安だし、悲しいです。

保育園は専業主婦の子供はなかなか入れません。

ママが仕事して当たり前な考えになってきているのに戸惑いを感じています。